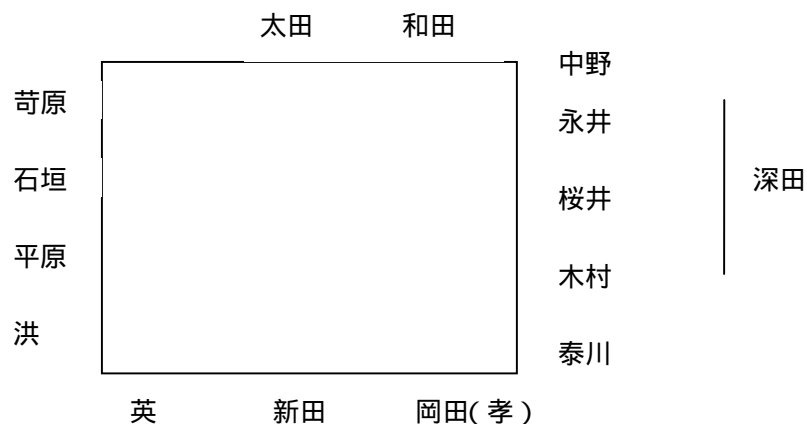


作成日：2012年4月10日

作成：事務局

【席順】



日時	2012年3月17日(土) 16:05~17:45		
場所	スター会議室 九段下		
出席者	・石垣 泰則 ・和田 忠志 ・太田 秀樹 ・苛原 実 ・中野 一司 ・洪 英在 ・木村 幸博 ・桜井 隆 ・永井 康徳 ・新田 國夫 ・岡田 孝弘 ・英 裕雄 ・平原 佐斗司 ・泰川 恵吾	静岡 千葉 栃木 千葉 鹿児島 愛知 岩手 兵庫 愛媛 東京 神奈川 東京 東京 沖縄	城西神経内科クリニック あおぞら診療所高知潮江 おやま城北クリニック いらはら診療所 ナカノ在宅医療クリニック 国立長寿医療研究センター(伊藤光保代理) もりおか往診クリニック さくらいクリニック たんぼぼクリニック 新田クリニック オカダ外科医院 新宿ヒロクリニック 梶原診療所 ドクターゴン診療所
陪席	・深田 修		国立長寿医療研究センター

<p>議題等</p>	<p>1 開会 16:00 2 出席世話人 近況・活動報告 3 報告事項 事務局 入会状況など 教育研修局 IT/コミュニケーション局 調査・研究局 在宅医療助成勇美記念財団助成 ブロック在宅医療推進フォーラム その他 4 議事)平成24年度 会長選出 世話人交代・拡大等について)IT・コミュニケーション局より HPの充実 リンク組織・在宅医リスト等について)本会の運営方針 方法 会員拡大 ご要望 その他)次回開催日程(案) 平成24年9月1日(土)*日本プライマリ・ケア学会初日 福岡</p>
<p>議事等</p>	<p>1 開会 16:05 2 出席世話人 近況・活動報告 太田：前回ご欠席の世話人から、近況報告をお願いしたい。 木村：今年度、在宅医療連携拠点事業を受けた。あっという間の1年であった。行政をいかに動かすかが課題であった。 太田：今年度も90数箇所で開催される予定。13日に交付され、3月23日が締め切り、約2,000万円の交付額。在支診が手を上げれば、効率的に事業展開ができるのではないかと期待している。 岡田(孝)：12月3日に第1回横浜市在宅医療推進フォーラムを開催した。357名の参加があり、意識の高さが伺えた。今後、クラウドシステムを利用して、より職種連携が図れるような環境づくりを目指している。 太田：各地での活動についても、今後、HPで配信したほうが良い。中野先生までメールを。 新田：東京都在宅医療推進委員会を在宅療養推進委員会に切り替えた。各市区町村に在宅療養推進協議会を作るよう指示を出しているところ。23区では、約半分が協議会を設立。行政で在宅療養相談窓口を設置。国立市では、在宅医療推進に向かっているが、やはり、医師会のほうが動きが遅い状況にある。また、3～4年前に摂食嚥下の地域モデルを作り、病院がセンターを設けた。そこから、各地に歯科医師と医師を派遣し、評価し、必要があれば、歯科衛生士によるリハビリ、また、栄養士等にもつなげる。このようなモデル事業を展開している。 洪：本日は、伊藤先生の代理で出席。今年度も、フォーラムや勉強会等開催してきた。今後も継続していきたい。 石垣：在宅医学会を本日・明日開催。一般社団法人化し、愛知県名古屋の前田憲志先生が代表理事に。今年、9月に東海北陸地区の推進フォーラムを静岡で開催の予定。IT関係・多職種連携をテーマにする予定。国からIT整備について補助金がつき、県医師会に在宅医療整備推進協議会が設置される。静岡県版の電子カルテを作成し、訪看やケアマネジャーがiPadを持って情報を共有できるような事業を展開。強化型支援診療所ができるが、訪問診療専門の診療所と従来型とのギャップが広がってしまう懸念がある。そのギャップを埋める努力が必要であると感じている。9月の特別講演の演者を検討しているので、皆様のご協力を。 泰川：沖縄では、在宅医療がなかなか推進されていない。昨年、日本ホスピス・在宅ケア研究会の全国大会が沖縄で開催された。沖縄コンベンションセンターが満員になるくらいの参加があった。そこで、この連絡会の紹介を行ったところ、連絡会のフォーラム開催の話が挙がった。沖縄本島で在宅医療を実施されている先生を中心に、冬には開催予定。</p>

また、昨年震災後の復興支援に携わっていたところ、ヘリコプターで被災地支援をする会（防災医療航空支援の会）の理事長に就任した。東京都に基地を置き、可能な範囲はどこでも支援する体制。民間のヘリコプターを利用し、燃料代等も寄付で補う。何かあれば、声をかけて欲しい。患者の搬送は、困難だが、医療者がヘリで被災地等に出向く。

桜井：医師会の中に、在宅医会を立ち上げようと考えたが、医師会から反対を受けた。専門クリニックは少なく、午後から在宅型が多いにもかかわらず、そのような対応に戸惑う。

3 報告事項

太田：事務局より、入会状況については、微増。ネットワーク活動が盛んになってきている地域からの入会が多い。

和田：教育研修局より、今年度も各地方で在宅医療推進フォーラムが開催された。甲信越・中国地方での開催ができなかったが、開催できた地方では、在宅医療推進に大変貢献していると思う。次年度もご協力をお願いしたい。

また、在宅医療研修用DVDの作成については、太田先生と国立長寿医療研究センターの大島先生とで調整中。インターメディカという会社で作成予定。

東大柏プロジェクトについて、平原先生・川越先生筆頭に研修プログラム作成・実施した。今後、簡略版を作成し全国に広めていく予定。

24時間地域巡回型訪問サービス提供体制におけるケアマネジメントのあり方の調査研究事業検討委員会について、厚労省においての会議に参加。

その他、講演依頼等あり、世話人にお受けいただいた。今後も、ご協力をお願いしたい。

太田：研修用DVDについての対象は、開業医。医師の意識改革が目的。ブラッシュアップ目的ではなく、在宅医療の基本的内容。1本40分、4本の予定。HPでの公開については、ライセンスの問題で困難。

英：東京都推進フォーラムについて、2月5日西新宿で開催。新田先生の講演後シンポジウムを行った。今後、地域包括ケアの時代に合わせた在宅医療推進について。参加者は、100名ほど。

中野：ITコミュニケーション局より、HPが十分に活用できていない。MLでは活発な討論が続いている。今後、世話人等が、直接HPに書き込みができるような環境が望ましいと思っている。ユーチューブなどの活用もできるといい。

石垣：他のMLとの交流みたいなことは可能か。

太田：参加者が多職種であること等から困難か。

太田：厚労省からの研究委託について、【老人保健健康増進等事業 在宅療養患者の摂食状況・栄養状態の把握と改善に向けての全国調査研究（案）】。アンケート調査と皮下脂肪厚の測定くらい。当会の他、歯科医師・看護師・薬剤師・ケアマネの各会団体で行う。6月に全体説明会を開催、そこでは、各職種が参加する為、多職種連携にも繋がる。皆様にご協力をお願いしたい。

和田：今年度の各ブロックでのフォーラムについて、勇美記念財団からの連絡はまだ来ていないが、引き続き皆様のご協力を。

平原：柏プロジェクトについて、昨年9月から10月にかけて試行モデルを実施。参加者からのアンケートを基に短縮版の動機付けプログラムを作成。今月から、統括地域で実施予定。2回のレクチャー・グループワーク、その間に1日の在宅の現場を体験する。これを受けた方対象に、指導者講習。柏以外の支援診療所の医師等にオブザーバーとして参加してもらおう。中級コースでは、さらに踏み込んだ内容で1ヶ月ごとに3日間の研修。現在、準備中。全国展開する際、各地に拠点となる支援診療所が必要であり、当会の先生方に御協力ををお願いしたい。

新田：シニアレジデント研修に、プライマリケアの指導医が必要となる。

4 議事

）平成24年度 会長選出 世話人 交代・拡大等について

太田：黒岩会長が高齢を理由に辞任され、後任を決める必要がある。世話人については、各県

	<p>に1名、人口の多いところでは数名。現世話人の中には、辞退を申し出ている方もいる。世話人会の位置づけを整理すると、各地の在宅医療の問題を持ち寄り共有し解決に導く、また、他の地域の良い事例を持ち帰り在宅医療の普及推進を図ることが目的。東海・北陸・九州では、各県に組織ができています。</p> <p>【世話人の要件について】地域社会中で、きちんと在宅医療を展開されている方。判定委員などを作るか。看取り数を指標にするか。ブロックフォーラム等への積極的な協力。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現世話人が推薦し簡単なプレゼンを行い、現世話人会において全員一致で承認が得られた方を、任期を2年とし、世話人とする。承認 ・すでに、推進されている先生方については、4月より世話人になっていただく。事務局より就任願いを発行する。承認 ・世話人については、何もメリットもない中、在宅医療を推進したいという思いでお集まりいただいている。その点もご了承ください必要がある。 <p>【会長について】</p> <p>和田：会長というのは要職であり、黒岩先生からの意思を継いでいくものだと考える。</p> <p>太田：数日前にお会いしたが、黒岩先生のご意思は、厚労省等行政とのよい関係を保て、医師会等とも歩調を合わせられることが不可欠。現世話人会で決めて欲しい、との意向であった。</p> <p>石垣：黒岩先生のご意思を伺うと、新田先生が適任と思う。</p> <p>苛原：ご実績等も医師会との太いパイプもあり、新田先生がふさわしいと思う。</p> <p>英：東京都在宅療養支援診療所連絡会の会長でもあり、医師会との関係性も良好であり、全国連絡会の会長としても期待したい。</p> <p>太田：任期を設けてもよいのでは、と考える。会長の選出方法も決まっていなかったが。</p> <p>岡田：実績を考えれば、適任であると思う。</p> <p>永井：医師会との関係もあり、新田先生がいいのではないのでは。</p> <p>太田：事務局としても、新田先生であれば適任と思う。出席者の拍手をもって決めたいと思います。</p> <p>全員：（拍手）承認</p> <p>新田：お受けします。2年の任期で、宜しく願います。</p> <p>和田：任期を2年にしてしまうと、実態のある仕事が困難ではないか、と考える。</p> <p>新田：和田先生の仰るとおり。支援診療所と地域の一馬力診療所との問題、医師会は、なかなか立ち上がってくれない事実がある。それらの問題をどのように突破していくか。在宅療養支援診療所間がどう相互関係を構築していくか。これらの課題を解決していかなくは、本当の意味での在宅医療は進んでいかないと考えている。ソフト面において日本医師会との隙間を埋めていくことをこれからも考えていく必要があると思っている。在宅療養支援診療所の活躍の場を作っていこうと思う。</p> <p>太田：任期は設けるが、世話人会において再任もある。承認</p> <p>【24年度世話人会 開催日程について】</p> <p>太田：案は、平成24年9月1日（土）*日本プライマリ・ケア学会 初日 福岡 案通り 平成24年9月1日（土）*日本プライマリ・ケア学会 初日 福岡 承認 第2回は、平成24年11月22日 東京近郊 第3回は、平成25年3月30日～31日の在宅医学会に合わせて開催を予定する。</p> <p>閉会 17:45</p>
資料	<p>一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会 平成23年度 第2回世話人会議 議事次第 社員名簿 入会状況 教育研修局より IT/コミュニケーション局より 厚労省 在宅療養患者の摂食状況・栄養状態の把握と改善に向けての全国調査研究（案） 横浜市在宅医療推進フォーラム（資料・報告書） 愛知県在宅療養支援診療所連絡会報告書 平成23年度 第1回社員総会 議事録</p>
事務局	<p>・岩本 佳代子</p>

